

1. 件 名：東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年12月14日 10:10～11:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、和田専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻

技術専門職他2名

5. 要 旨

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻から、令和4年1月14日に予定されている同大学における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁から、二部制訓練の趣旨に鑑みて訓練時間を再度検討するよう伝えた。東京大学大学院工学系研究科原子力専攻から、本日の面談を踏まえて対応するとの回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：令和3年度総合防災訓練について（案）